



校章の由来

原作者は、酒井昭水氏。昭和46年、公募し、147点の中から選ばれた。丸子の「丸」の中に中央の「中」の文字と小学校の「小」の文字とを組み合わせ、校名を表し、さらにまわりの丸は、円満な心を、中の四角は勉強に打ち込む姿を表している。

沿革



明治初期 丸子・正明・性善・鼻倫の各学校
明治中期 丸子学校(腰越、東内支校)
明治後期 丸子・東内の各尋常高等小学校

大正8年度以降、製糸が盛んになるとともに児童数も急増する。

大正15年 児童数1123人
昭和22年 丸子(1558人)東内(363人)

昭和46年 丸子小学校と東内小学校が統合
丸子町立丸子中央小学校となる

昭和47年 校歌制定
平成元年 大小プール全面改装
平成23年 南校舎大改装
平成4年 北校舎大改装
平成11年 文部省小学校教育課程研究指定校
平成12年 30周年記念式典
平成15年 校内LAN工事
平成17年 パソコン40台新規設置

平成18年3月6日
丸子町、真田町、武石村が上田市と合併
上田市立丸子中央小学校となる

平成18年 ISO14001国際規格認証取得
平成21年 校舎耐震補強工事開始
NHK全国音楽コンクール優良賞
平成22年 40周年記念事業
東海バンドフェスティバル銀賞
体育館・校舎耐震補強工事終了
平成26年 40周年記念事業
東日本大会優秀賞
平成27年 40周年記念式典
東日本大会出場
平成28年 南校舎防火シャッター改修工事終了
平成29年 40周年記念式典
東日本大会出場
平成30年 40周年記念式典
東日本大会出場
令和元年 40周年記念式典
東日本大会出場
令和2年 丸子中央小学校として50周年を迎える
一人一台端末配置
令和3年 スクールバス乗降車場設営

令和4年度 上田市立丸子中央小学校 グランドデザイン

＜めざす子どもの姿＞
3つの宝をもって丸子中央小学校を卒業できる子ども

- 1) 自立した自分
興味・関心のあることに取り組み、学習したことを活用できる子ども
- 2) 協働できる仲間
互いのよさや違いを認め合い考えを交流しながら、心や体を働かせて友だちと共に学ぶ子ども
- 3) ふるさと丸子
地域の文化や人を知り、未来に向かって地域を大切にできる子ども

学校教育目標
かしまく やさしく ひたむきに

＜上田市教育大綱＞
「憧と輝く上田の未来を紡ぐ人づくり」
子どもたちの将来の礎となる「豊かな心と生きる力」を育みます
＜人づくり＞
・課題を解決する力、自立する力を育みます ・人の痛みがわかる、思いやりの心を育みます ・物事に取り組む意欲や探求心を育みます ・自分の考えや気持ちを伝える表現力を育みます ・グローバルな視野とふるさとを愛する心を育みます ・夢や希望を持って未来をたくましく切り拓く心を育みます

＜保護者・地域の願い＞
・友だちや先生と仲良く生活し、楽しく学校へ通ってほしい
・勉強したことを身につけ、確かな学力を高めてほしい
・友だち、先生、地域の方に自分から元気にあいさつしてほしい
・一人ひとりの子どもに寄り添った指導支援をしてほしい
・丸子地域の自然、歴史、文化、産業などを学び、ふるさとのよさを知ってほしい

【本年度の重点目標】
聞き合い 伝え合い 認め合える子ども

【学力向上】
考えを伝えたり深めたりしながら進んで学習しよう
○興味や疑問を大事にして、進んで調べたり考えたりしよう
○自分の考えたことを発表し、仲間の考えを大切に聞こう
○学習の約束を身につけて、真剣に学習に取り組もう

【人権教育】
相手の思いや考えを認め合おう
○だれとでも心のこもったあいさつをしよう
○だれもが違った思いや考えがあることを知り認めよう
○みんなが楽しく笑顔になれる学校生活にしよう

【強い意志・体力向上】
あきらめず、心と体をみがこう
○「体みがき」「わくわくマラソン」を続けよう
○「一人で向き合う掃除」をめざそう
○規則正しく健康的な家庭生活を過ごそう(食事と睡眠、家庭学習、メディアコントロール)

・学校や地域(ふるさと丸子)、子どもの興味を素材にした探究的な学びの充実
・考えを書き、声にし、必然性のある対話学習の推進
・全学級がめざす「5つの約束」
・ICTの有効活用
・授業のUD化、読み上げドリル、補充学習などで「わかった」「できた」を支える基礎を作る

・場に応じた明るいあいさつや返事の日常化(おはよう、ありがとう)
・多様性を認め合う道徳の実践や交流活動の実施
・インクルーシブ教育の充実や個を大事にしたチーム支援

・心身を鍛えたり学習に臨む姿勢を整えたりする、「体みがき」や「わくわくマラソン」の継続
・だれもが気持ちよく学校生活をおくるための約束やルールの確認
・「つむぐ」を活用し睡眠、メディアとのつきあい、家庭学習など、保護者と共に考え、子どもの健全育成をめざした実践

【めざす教職員集団：まず教職員から始めよう】
・子ども一人ひとりのよさと違いをみつめ、自ら自立し可能性を伸ばせるよう、寄り添い共に歩む。
・20年後を生きる子どもを想像し「おぼえること」「考えること」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」を意識する。
・各自の強みを生かし「チーム中央小」として支え合い、情報共有を心掛け、明るく朗らかに行動する。
・保護者、地域の願いや思いを受け止め、共に子どもを育てようとする。
・教育公務員としての誇りを忘れず、常に見通しをもって計画的に行動し、自主的にワークライフバランスを大切にします。

【地域と共に(信州型コミュニティスクール)】
・学校運営委員会(地域代表、ボランティア代表、PTA代表)による学校運営へのアドバイスと支援、外部評価
・地域の方と共にある学校(学校支援ボランティアの募集、支援体制の充実)
・地域の方に学ぶ丸子地域の自然、歴史、文化、産業

【保護者、家庭と共に(PTA活動に関わって)】
・まずは、大人から笑顔であいさつ。子どもがあいさつを返したら、笑顔を返そう。
・大人も子どももメディアとつきあう時間を決めて守ろう。
・「早寝、早起き、朝ごはん」の大切さを知り、実行しよう。
・「つむぐ」を活用し、家庭学習の習慣が身につくように、子どもに寄り添う。

全校研究テーマ 自分や友の考えのよさに気づき、 思いを伝えながら学びを深めていく授業

【人権教育グループ】
①自分自身のがんばりや成長を振り返ることで、自分のよさに気づく
②友だちと意見や考えを伝え合うことを通して、自分や友だちの考えのよさに気づく
③自分たちの考えを外部に発信することで、第三者から見た自分たちのよさに気づく

【NIEグループ】
①新聞記事などの情報をもとに、自分の考えを伝え合うことを通して、自分や友だちの考えのよさに気づく
②スクラップブックや新聞に自分が学習したことや体験したことをまとめていくことで、自分の考えの深まりや成長を感じる
③新聞などで学習したことを実際に確かめたり発信したりすることによって、学習したことを現実と結びつけながら外部の人とつながっていく

テーマ実現に向けて2つのグループに分かれて研究を進めていきます。また、基礎基本的な知識・技能の定着や表現力の育成にも取り組みます。

かしこく



ICTを活用し、子どもたちの意欲や理解を高め、思考を深めたり広げたりします



「主体的」「対話的」で「深い学び」のある授業の実践を目指します



信州型コミュニティスクール「まるっ子応援隊」の皆様へ学びます

やさしく



音楽会や音楽集会、合唱や金管バンドクラブの活動を通し、音楽が身近にある学校、お互いに認め合う学校を目指します



児童集会や異年齢交流など、全校が仲良くなる活動を行います



あいさつがあふれる学校、地域を目指して取り組みます

ひたむきに



毎日の活動が大きな喜びにつながる、そんな活動に取り組みます



日々の生活で培った、体力や気力、協力する気持ちを大切にします



体を鍛えると共に、心を鍛え、整えていきます

中央小の1年

- 4月**
- ・1学期始業式、入学式
 - ・交通安全教室
 - ・避難訓練(火災対応)
 - ・参観日、PTA総会、懇談会
 - ・1年生を迎える会
 - ・家庭訪問
- 5月**
- ・PTA作業
- 6月**
- ・運動会
 - ・プール開き
- 7月**
- ・避難訓練(不審者対応)
 - ・学校へ行こう週間(授業参観・懇談会)
 - ・5年宿泊学習
 - ・1学期終業式
 - ・NHK合唱コンクール
- 8月**
- ・県バンドフェスティバル
 - ・2学期始業式
- 9月**
- ・避難訓練(地震対応)
 - ・交通安全教室
- 10月**
- ・PTA作業
 - ・6年修学旅行
 - ・音楽会
 - ・管楽器交歓演奏会
- 11月**
- ・避難訓練(休み時間対応)
 - ・なかよし月間
 - ・土曜参観、PTA講演会、「太陽の子」開封式
 - ・4年社会科見学
 - ・読書月間
- 12月**
- ・個別懇談会
 - ・ありがとうコンサート
 - ・3・4年スケート教室
 - ・2学期終業式
- 1月**
- ・3学期始業式
 - ・ボカールアンサンブルフェスティバル
 - ・アンサンブル交歓会
 - ・5・6年スキー教室
- 2月**
- ・児童会選挙
 - ・参観日、懇談会(～3月)
- 3月**
- ・6年生を送る会
 - ・3学期終業式
 - ・卒業証書授与式
- 令和4年4月1日現在